

# こおりやま広域圏移住体験ツアー2025 秋

秋の恵みを堪能できる田舎体験ツアー！

二本松市・大玉村10月18日(土)～10月19日(日)

## <1日目>

郡山駅集合(9:50)→森のそば屋宇山(そば打ち体験&ランチ・オリエンテーション・移住者のお話)→あだたらの里直売所→田舎体験→  
地域のスーパーでお買い物→チーズケーキ工房&カフェ風花にて移住者のお話→宿泊施設(mt.inn)へ→  
地域の方と交流会

こおりやま広域圏移住体験ツアー 秋コース3本目は、二本松市・大玉村にて開催されました。

朝 9:50 郡山駅西口。

10月中旬、秋も深まるころ、郡山駅西口に集合したのは、関東からの参加者5組8名。

本ツアーもかとりっぷ観光の加藤さんにファシリテーターとしてご同行いただきました。

○大玉村  
森のそば屋宇山

一行がまず向かったのは、大玉村の森の中にたたずむ古民家「森のそば屋宇山」です。ここでは大玉村の地域おこし協力隊である飛田さんと紫雲さんが講師となってそば打ち体験をしました。打ったそばは、「森のそば屋宇山」で採れたそば粉とつなぎ用の小麦粉を混ぜた二八そば。大玉村では新そばを楽しむそば祭りが毎年開催されるなど、そば打ちが文化のひとつとして親しまれているそうです。

そばを打つ体験は特別な体験となったようで、参加者の方からは「粉を混ぜるところから体験できたのは貴重な体験だった。若い方がそばで街を盛り上げていこうと頑張っている姿に励まされた」という声も聞かれました。飛田さんと紫雲さんと交流しながらそばを打ち、皆で試食をしました。参加者からは「そば打ちは奥深い」という声があがり、地元のそばのおいしさを改めて実感しているようでした。



そば打ち体験の様子

○大玉村  
田舎体験

「森のそば屋宇山」でお腹を満たした後は、八起農園の白幡さんの畑でさつまいも掘り体験です。一人3株を掘り、袋いっぱいのおさつまいもを持ち帰りました。

白幡さんからはさつまいもの保存方法や調理法も教えていただきました。普段土に触れる機会が少ない参加者は、「土をいじっていると元気になれる」という白幡様の言葉にも共感し、貴重な体験ができたと言っていました。



さつまいも掘りの様子



○大玉村  
あだたらの里直売所

土のぬくもりを感じながらさつまいもを掘った後は、地域で親しまれている農産直売所「あだたらの里直売所」に向かいました。ここでは、矢吹店長から福島県の農産物の安全への飽くなき取り組みについてお話を伺ったり、お米の食べ比べや当日開催されていたイベントに参加したりしました。福島県の農産物は2011年の東日本大震災後、放射能汚染が懸念されてきました。10年以上経った現在でも、あだたらの里直売所の野菜は毎日検査されているとのこと。お米の食べ比べでは「天のつぶ」と「福、笑い」を試食し、ツアー参加者それぞれ好みのお米を見つけて楽しんでいました。

その後は、あだたらの里直売所でのお買い物を楽しみました。「あだたらの里直売所」では、新鮮さを重視し、商品はその日のうちに販売するため、毎日15時から割引シールが貼られます。15時過ぎの訪問だったため、福島県産の野菜や果物が割引価格で提供されており、皆さま購入されていました。

○大玉村  
**PLANT-5**

あだたらの里直売所の隣にある大型スーパーセンターPLANT-5でお買い物をしました。食料品だけではなく衣料品、日用品、園芸用品までなんでも揃うスーパーの規模感に皆さま驚かれました。移住先に対する不安の中の一つである、「物が揃えにくい」という先入観がなくなった、との声をいただきました。



あだたらの里直売所での様子

## ○二本松市

### チーズケーキ工房・カフェ風花 & もりのこうぼう

大玉村を出発し、二本松市へ。「チーズケーキ工房・カフェ風花 & もりのこうぼう」を訪れます。ここでは移住者である、長田さんご家族にお話を伺いました。ご主人の和樹さんは東京都ご出身、奥様の花梨さんは二本松市にUターンされた方です。

ツアー参加者は、まるで物語の中に入り込んだような素敵な建物に感銘を受けている様子でした。ハロウィンの季節だったこともあり、花梨さんが飾りつけをされたカフェを楽しんでいました。当日は敷地の一角にある図書室で、自慢のチーズケーキと福島県産のフルーツを使用したドリンクをいただきながらお話を伺いました。こだわりのチーズケーキとドリンクはとてもおいしかったです！

お2人のお話を聞いて、「ご自身のキャリアを通して移住についてお話してくださったので、とても共感できる部分が多く、移住者目線でわかりやすく丁寧に語っていただき、ありがたかった。」と参加者からも声がありました。皆さま真剣にお話を伺っていたのが印象的でした。



チーズケーキ工房・カフェ風花 & もりのこうぼうでの様子



## ○二本松市

### 宿泊施設へ(mt.inn)

一日の締めくくりとして、日本百名山の一つである安達太良山の麓に位置する宿泊施設「mt.inn」へ移動しました。夕食兼交流会では、二本松市と大玉村へ移住された方々と触れあいました。福島県内の指定農家が限定生産する麓山高原豚のソテーと、柔らかいビーフシチューを味わいながら、普段なかなか聞くことのできない移住体験談や、自治体の移住支援策について伺うことができました。



宿泊施設mt.innでの様子

## <2日目>

宿出発(8:50)→二本松城跡(本丸跡)→霞ヶ城公園・にほんまつ城報館(菊人形見学等)→竹根通り・鯉川の周辺散策→蔵カフェ「千の花」で郷土料理「ざくざく」ランチ  
→和紙手漉き体験・道の駅でお買い物→安達ヶ原ふるさと村見学→郡山駅(16:00予定)

2日目が始まりました。





○二本松市  
二本松城跡(本丸跡)

2日目最初の訪問地は、二本松城跡です。

ここでは二本松市の定住支援員であり、二本松市観光ボランティアガイドでもある守岡さんにご案内いただきながら、史跡二本松城跡の解説をしていただきました。

この場所には城跡は残っていますが、天守閣などの城郭は建てられなかったといわれています。現在の石垣は平成になってから再建されたものです。守岡さんのガイドの解説があったため、ただ見学をするだけではなく、二本松の深い歴史を肌で感じられるものとなりました。

○二本松市  
霞ヶ城公園・にほんまつ城報館(菊人形見学等)

二本松城跡の見学後は、霞ヶ城公園で二本松の菊人形を見学しました。

今年の二本松の菊人形は、10月10日から11月18日までの開催で、昭和30年から約70年も続いている菊の祭典です。会場には菊人形だけではなく、多種多様な菊が飾られていました。全体で約3万株もの菊が咲き乱れているそうです。

守岡さんのご案内のもと、細部にわたる丁寧な解説とともに見学を行いました。福島県菊花品評大会や二本松菊花品評会大会も同時に開催されており、菊の花がどうあれば評価されるのかの解説をしていただきました。人形一体一体に菊の花の衣装が彩られていて皆さまは色とりどりの菊の美しさに魅入っている様子でした。



二本松城跡・霞ヶ城公園での様子



## ○二本松市

### 竹根通り・鯉川周辺の散策

竹根通り・鯉川周辺の散策では、普段二本松市民の方々が日常的に利用されている城下町の雰囲気を感じることができました。参加者の皆様は、「もし二本松市に住んだら、このような場所で生活するんだ」と、移住後の暮らしを想像しているようでした。



竹根通り・鯉川周辺の散策途中の様子

○二本松市  
国田屋醸造・蔵カフェ「千の花」にてご昼食

竹根通り・鯉川周辺の散策を終え、昼食場所である「蔵カフェ千の花」へ到着しました。  
ここでは、二本松市の郷土料理「ざくざく」をいただきました。  
店主の大松さんが「ざくざく」について詳しくお話をしてくださり、背景を知ることができました。「ざくざく」は主に冠婚葬祭で食べられる料理ですが、家庭によって食べる行事、また野菜の切り方などが様々であるそうです。「ざくざく」と一緒に食べるランチには、国田屋蔵造の天然醸造味噌や甘酒が使用されており、心にしみわたる優しい味わいでした。



国田屋醸造・蔵カフェ「千の花」にてご昼食



○二本松市  
和紙伝承館にて上川崎和紙の手漉き

二本松の伝統的な冬のお仕事である、上川崎の手漉き和紙体験を行いました。  
紙料を紙床と呼ばれる道具の上に流して漉き、それを重ねていく行程を3回繰り返し、秋の風情を感じられるように紅葉の葉っぱを挟み込みました。  
体験後には、なぜ二本松で紙漉きの文化が根付いたのか、という歴史的な背景や、楮の樹から和紙になるまでの詳細な工程を説明していただきました。この体験でも二本松市の歴史と文化を深く感じることができました。



和紙伝承館にて上川崎和紙の手漉きでの様子

○二本松市  
安達ヶ原ふるさと村

このツアー最後の行程は、安達ヶ原ふるさと村の見学でした。

ここは阿武隈川沿いの多目的公園で、高さ31mの五重塔をはじめ、武家屋敷などの古民家、そして安達ヶ原の鬼婆伝説にちなんだ施設などがあり、自然とともに楽しむことができるスポットです。

参加者たちは2つのグループに分かれ、1グループはかとりっふ観光の加藤さんと移住について意見交換を行い、1グループは安達ヶ原ふるさと村内を見学しました。

加藤さんも福島県の地域おこし協力隊を経験された移住者であり、この時間は参加者が抱える移住に対する不安や疑問を解消するための貴重な機会となりました。

安達ヶ原ふるさと村では、「げんきキッズパーク」のように子どもが遊べる施設が充実しており、多くの家族連れでにぎわっている様子でした。鯉の餌やり体験や当時の生活が偲ばれる古民家を見学もできました。市民にとっても週末のお出かけスポットとして利用できる、大変魅力的な施設です。



安達ヶ原ふるさと村での様子

16時頃、郡山駅に到着し解散となりました。

この二本松市大玉村の移住体験ツアーが、こおりやま広域圏へまた来るきっかけになり、今後またつながっていただければ幸いです。